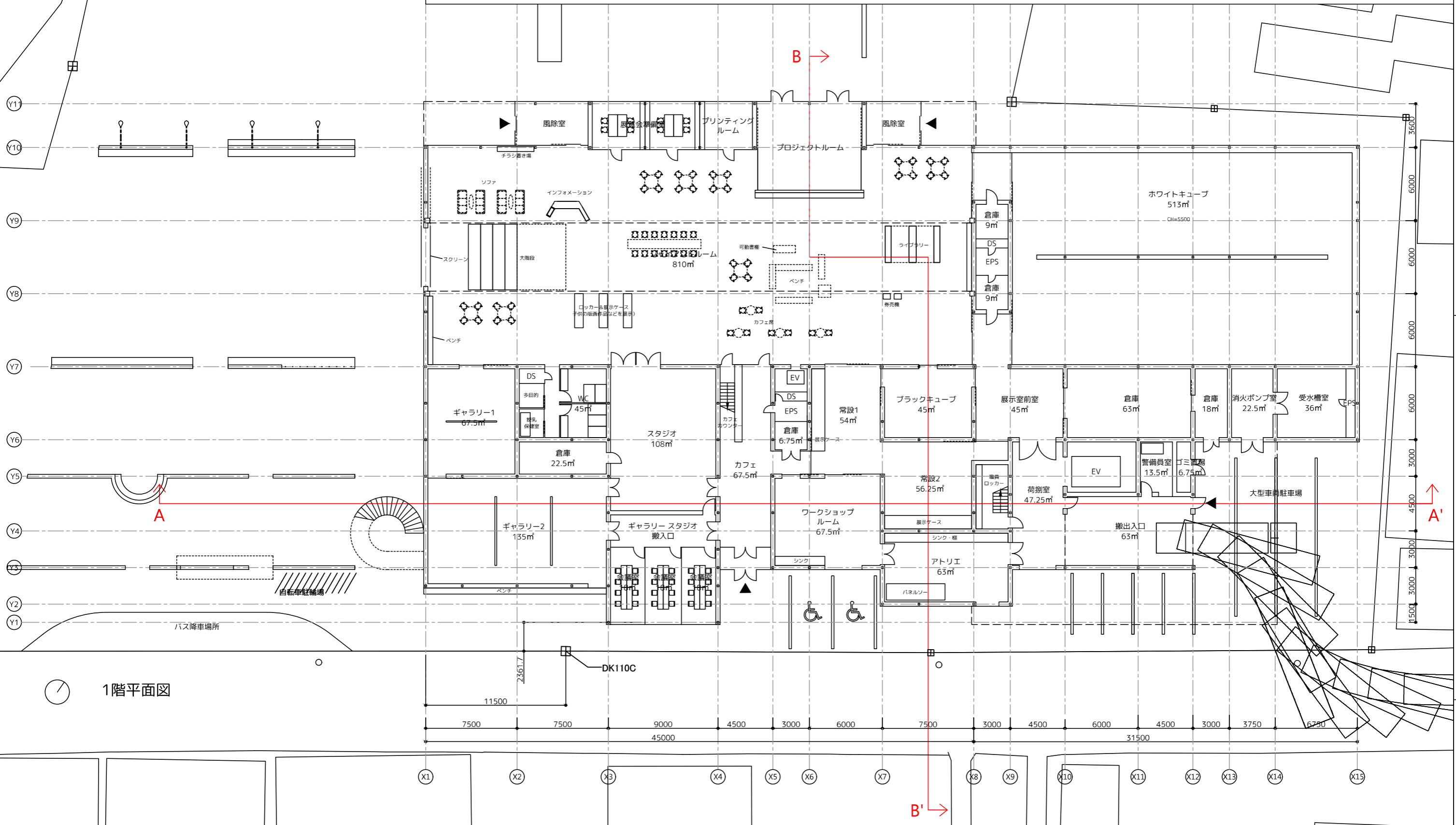
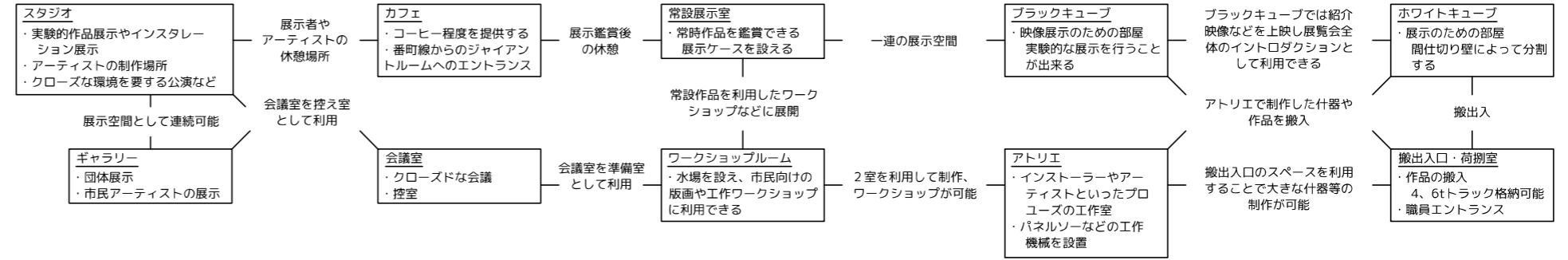


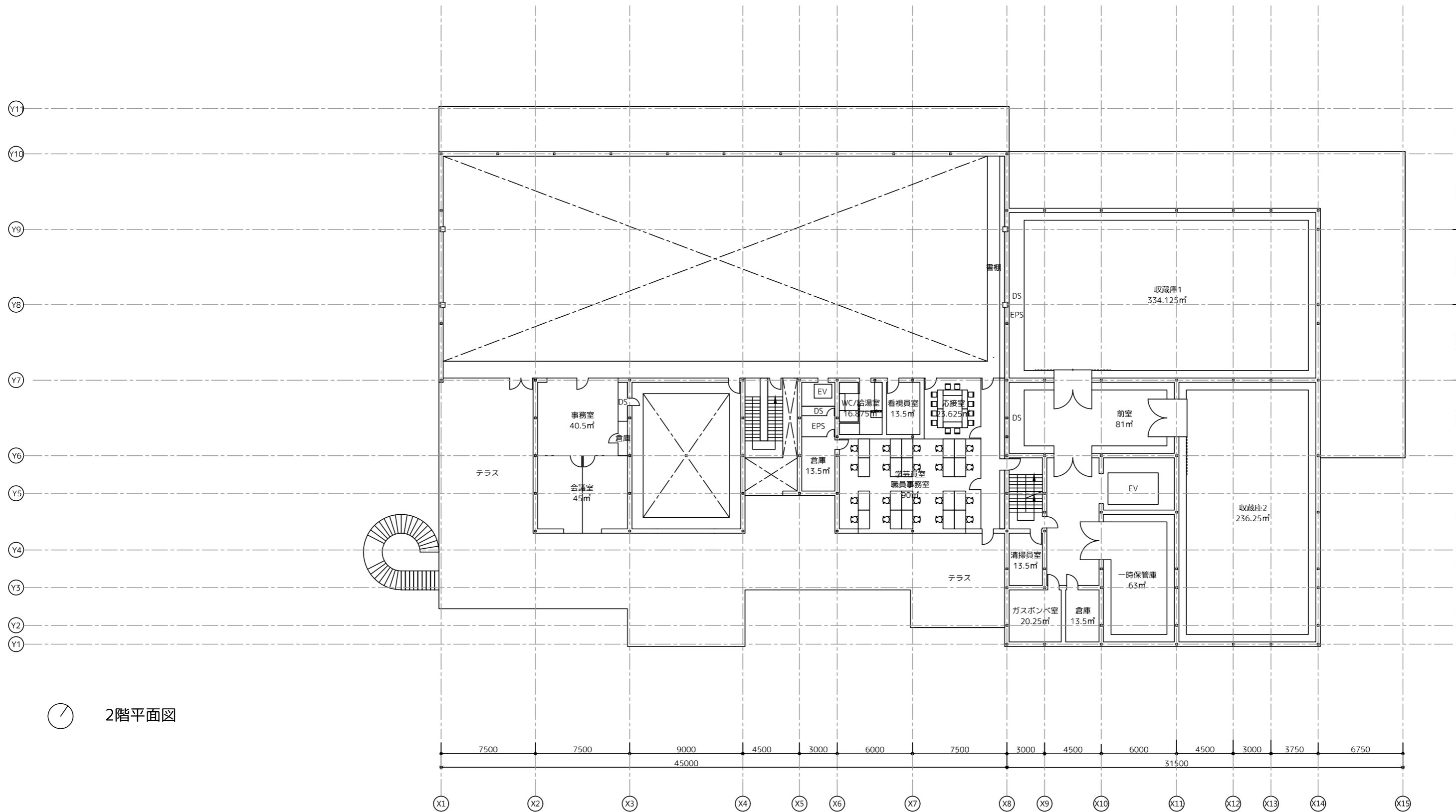
本資料は、基本設計を行うにあたり、市民の皆様から広くご意見をいただくために作成した資料です。内容については、今後の検討において変わることがあります。

各個室の用途と連携

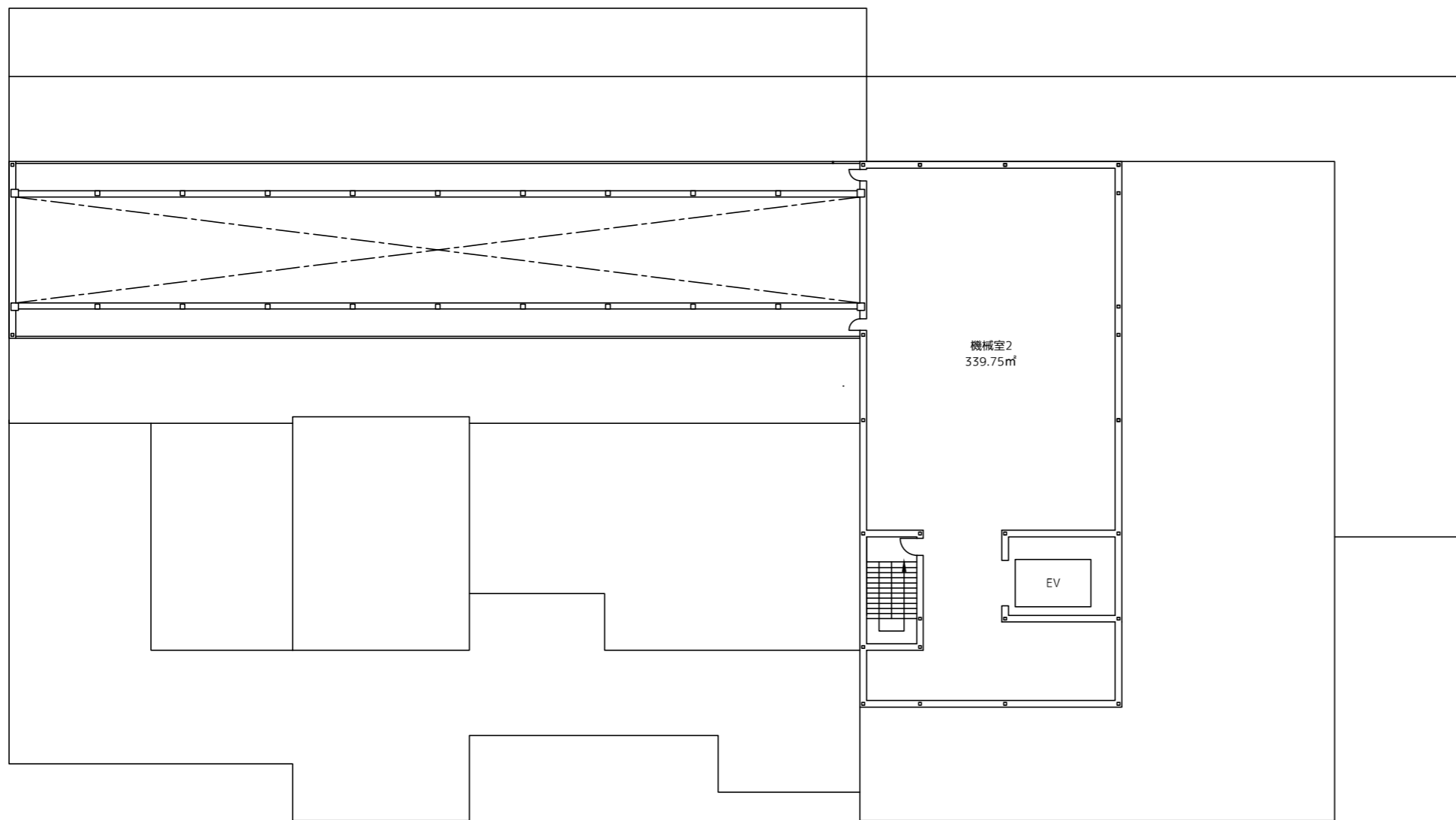


1階平面図

内容については、今後の検討において  
変わることがあります。



内容については、今後の検討において  
変わることがあります。



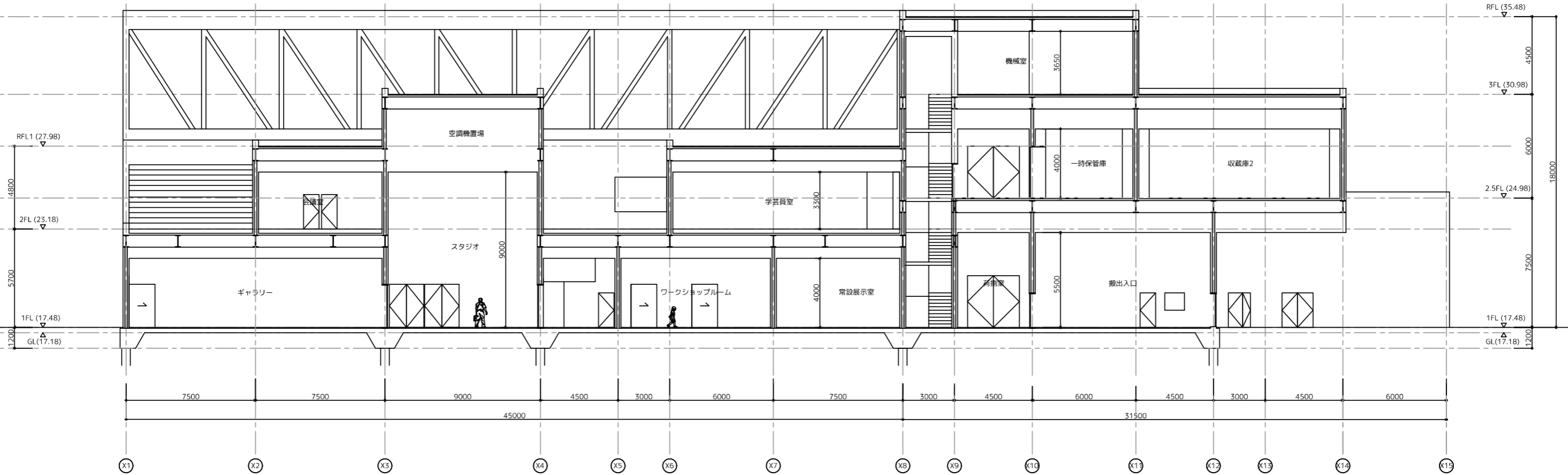
3階平面図

面積表	プロポーザル案	現案
ジャイアントルーム	931.5㎡	810㎡
ホワイトキューブ	513㎡	513㎡
ブラックキューブ	54㎡	45㎡
ギャラリー	243㎡	202.5㎡
常設展示室		110.25㎡
スタジオ	135㎡	108㎡
オーディトリウム	121.5㎡	0㎡
ローディング (荷捌室)	81㎡	47.25㎡
展示室前室		45㎡
ワークショッブルーム	67.5㎡	67.5㎡
アトリエ	72㎡	63㎡
キッチン	36㎡	0㎡
ラウンジ	27㎡	0㎡
会議室	81㎡	54㎡
搬出入口	108㎡	63㎡
倉庫	101.25㎡	128.25㎡
WC	27㎡	45㎡
カフェ		67.5㎡
一般用EV		6.75㎡
その他	101.25㎡	328.05㎡
1階	2700㎡	2704.05㎡
収蔵庫・一時保管庫	727㎡	714.375㎡
学芸員室・応接室	72㎡	113.625㎡
看視員室		13.5㎡
清掃員室		13.5㎡
事務室・会議室		85.5㎡
WC・給湯室		16.875㎡
その他	77㎡	247.5㎡
2階	876㎡	1204.875㎡
機械室	279㎡	339.75㎡
その他	45㎡	45㎡
3階	324㎡	384.75㎡
合計	3900㎡	4293.675㎡
①室を新設あるいは拡大した 結果、増加した面積		903.55㎡
②整理したため、 収まり上減少した面積		509.875㎡
①と②の差		393.675㎡

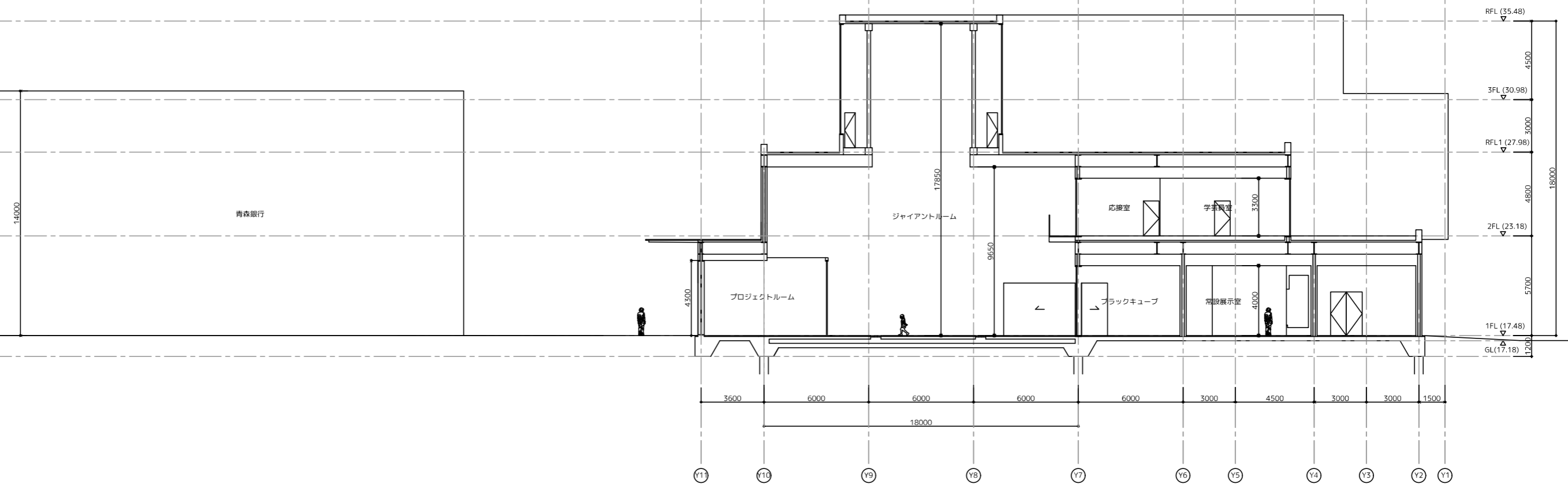
赤：増加 青：減少

内容については、今後の検討において  
変わることがあります。

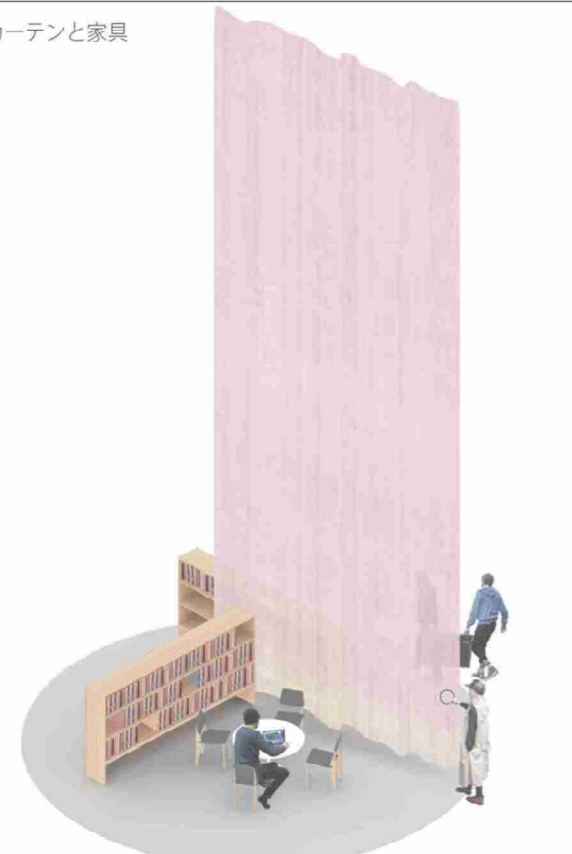
A-A'



B-B'

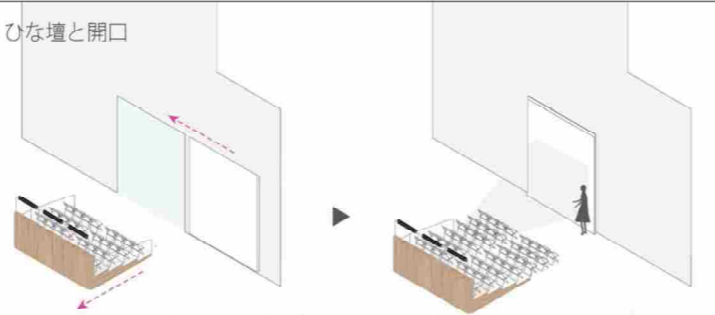


カーテンと家具



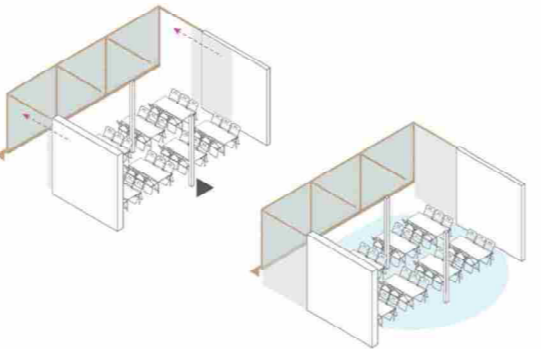
トップライトに沿って、カーテンを吊る提案です。大空間を、大きなカーテンと家具で緩やかに分けて、異なる活動が同時に行える空間をつくりたいと考えています。カーテンの大きさは、幅6m×高さ10.5mで、合計で8枚のカーテンを、自由に動かせる機構を検討しています。

ひな壇と開口



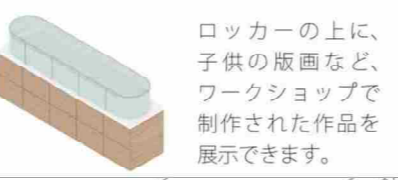
レクチャー用のひな壇は、講義がない時は、来館者が庭に對面して自由に座れる場所として利用されます。大きな講義がある時には、ひな壇を後方に移動させ、椅子を足すことで対応することが可能です。

プロジェクトルーム



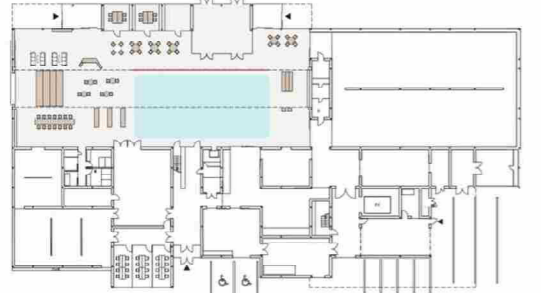
通常はジャイアントルームと一体的に使われますが、八戸工場大学などのイベントや講義の際には、引き戸を閉めることで、密な議論ができるクローズドな場所になります。

ロッカー・WS 展示



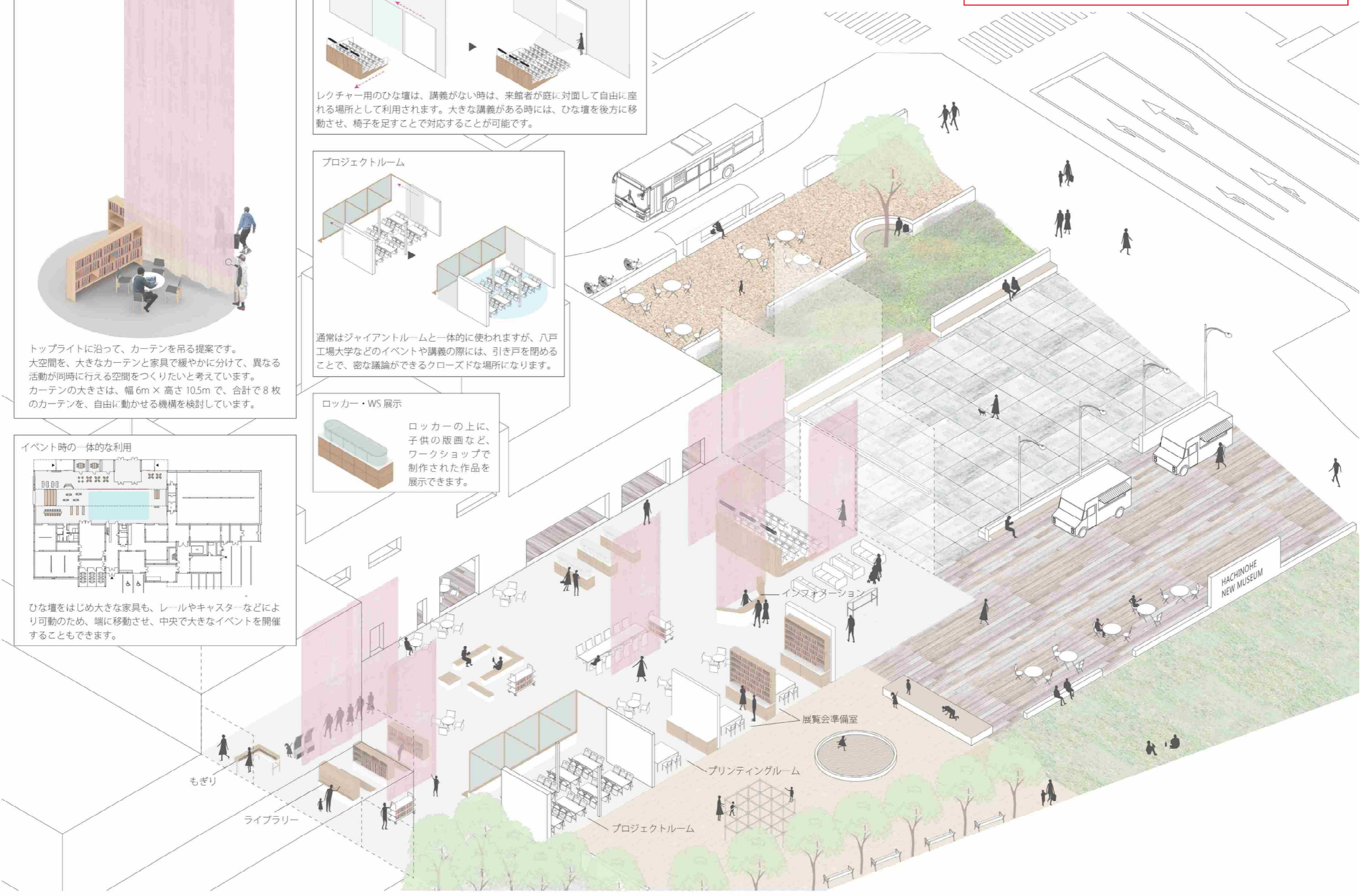
ロッカーの上に、子供の版画など、ワークショップで制作された作品を展示できます。

イベント時の一体的な利用



ひな壇をはじめ大きな家具も、レールやキャスターなどにより可動のため、端に移動させ、中央で大きなイベントを開催することもできます。

内容については、今後の検討において変わることがあります。

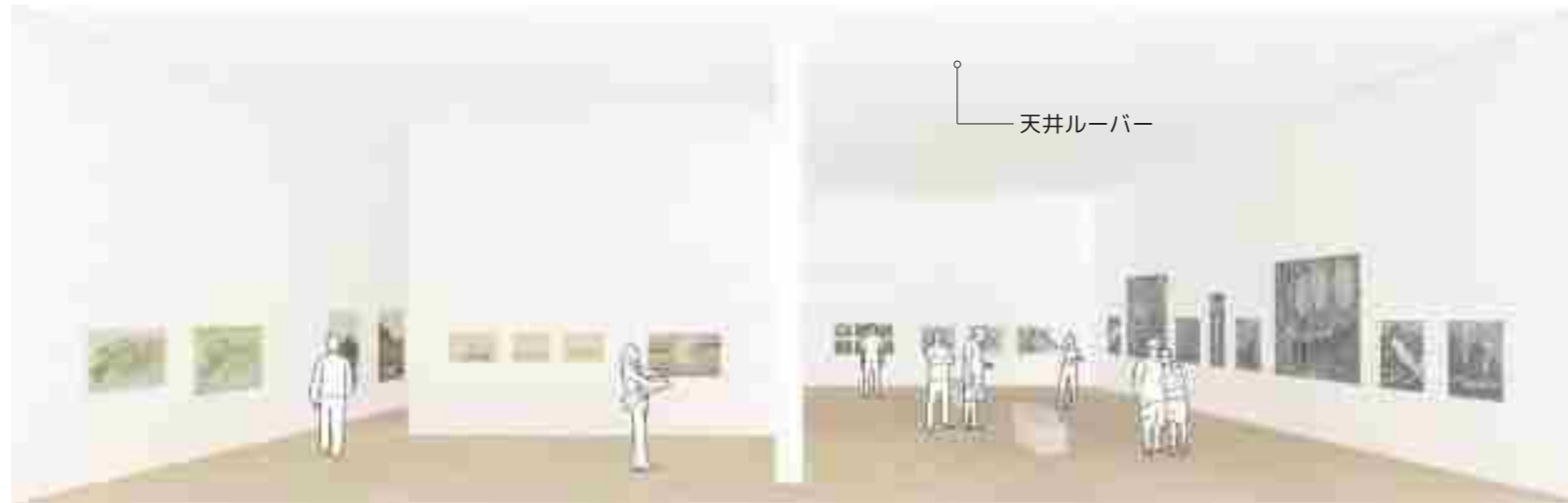


内容については、今後の検討において変わることがあります。

## ホワイトキューブ

企画展向けの展示室です。(面積：499.5㎡、天井高：5.5m)

展示壁により、大中小の3つの部屋に分かれています。ひとつの部屋として一体的に使うことも、別々の展示に利用することもできます。



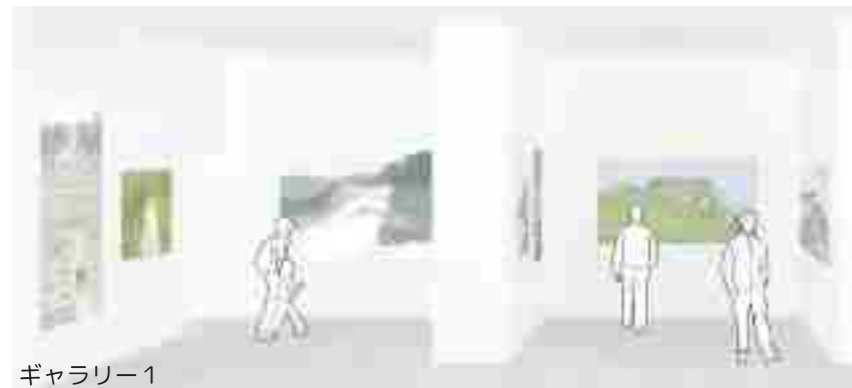
大きさの異なるギャラリーが連続しています。

## ギャラリー

ギャラリー1(面積：67.5㎡、天井高4m)と、ギャラリー2(面積：135㎡、天井高4m)で構成されています。

可動壁を利用すると、壁面長を増やすことができます。

前庭に面して開口があり、まちの雰囲気を感じることができます。また、まちからも展示の様子が伺うことができます。



ジャイアントルームとつながっていて、気軽に立ち寄ることができます。



2つのギャラリーは、前庭に面した窓を通して、まちとつながっています。

内容については、今後の検討において  
変わることがあります。



カーテンを閉めると、アーカイブコーナーと動線をゆるやかに分けることができます。

内容については、今後の検討において  
変わることがあります。



カーテンで仕切ること、レクチャーやイベントなど、同じ空間で異なる活動を行うことができます。



内容については、今後の検討において  
変わることがあります。



カーテンのすぐ後ろでは次の企画展の準備がされているなど、市民と美術館が近い距離感で共存できる空間です。